

都市政策の基本的な課題と方向検討小委員会報告 概要

第1章

都市を巡る社会経済情勢の変化と都市政策の課題

人口減少・超高齢化の進展と都市の拡散

都市経営コスト効率化の要請

地球環境問題への対応

激化する都市間競争

行政の広域化に伴う課題

農地の転用・開発と都市からみた農のニーズの高まり

国民の価値観の多様化、ライフスタイルの変化等

第2章

今後の都市政策の基本的な理念 ～将来世代に引き継ぐ、豊かで活力ある持続可能な都市～

価値観の転換

拡大成長を前提
量的充足の効率的な達成

将来の世代により良い
ものを引き継ぐ

豊かで活力ある持続可能な都市

安全・安心、暮らしやすさ、質の高い、心豊かな生活、雇用、賑わい、創造性、持続的成長、低炭素、高効率エネルギー、循環、自然共生

第3章

政策転換の視点

都市の整備、改良に加え、多様な主体の参加を促し、まちづくりの方針の下、各主体が質の高い活動を実践できるよう、様々な取組をコーディネートするなど、都市の「演出」が重要。

政策転換の4つの視点

①政策領域の拡大

各主体の活動を活発にする仕掛け、多方面の分野を包含・連携する総合的な政策

②空間的範囲の拡大

都市の外縁部やその外の区域に目を向けた都市政策、都市と農山漁村との共存

③時間軸の拡大

ストックの有効活用など都市のマネジメント、将来像の事前明示と柔軟性の確保

④多様な主体の参加と実践

多様な主体の協働、客観性と透明性の確保、市町村の役割、広域連携、国の役割

第4章

今後の都市政策の方向

1. 基本的な方向

「課題対応・問題抑制型」



「ビジョン実現型」

2. 都市の将来ビジョンに関する共通の指針

「エココンパクトシティ」の実現

集約型都市構造＝エコな都市構造



拠点的市街地における環境共生型都市システム
都市環境施策の総合化

面的な市街地整備に際して未利用エネルギー等の普及を拡大、都市交通の円滑化、総合的なプランニング等

効率的な都市経営(マネジメント)

エリアマネジメントの取組支援の充実、ストックマネジメント手法の体系化、廃止を含めた計画の見直し等

安全で安心なまちづくり

リスク情報の活用と連携によるまちづくり。公共施設の整備、土地の使い方の工夫、地域力による対応等多様な手法の組み合わせ。都市基盤の整備。

都市の国際競争力と国際都市連携の推進

大都市を中心に、交通ネットワークの利便性向上、投資を呼び込むための環境整備。文化の創造など国際交流の取組への支援。アジアとの国際協力関係強化。

美しく魅力ある都市の実現

歴史的資産等を活用したまちづくり支援の充実。新たな都市の顔となる景観の創造。きめ細かな街並みの制御。水・みどりとの共生。農地の多面的機能を都市として持続的に活用。

3. 多様な主体による様々なレベルでのまちづくりの推進

民間のまちづくりの担い手への支援。市町村が中心となった一体的・総合的なまちづくりの展開。一層円滑な広域調整の仕組み。国と地方のより双方向で水平的な関係。国と民間セクターの直接連携。情報の可視化・共有化による協働。利害調整の仕組み。

4. 制度見直し検討の方向性

都市計画制度の見直しに向けて

都市計画の政策性・実現力の強化
都市経営戦略の受け皿としての位置づけの回復。可視化・利害調整機能の強化。都市計画の評価システムの構築。

長期安定的な土地利用計画システムの確立

市街地の内部から郊外周辺、さらに広域にわたる一貫性のある土地利用計画システムの確立。

段階的実施

短期的に対応すべきものと、総合的かつ慎重な検討を行った上で中長期的に対応すべきものに仕分けて制度を再構築。

市街地整備制度の見直しに向けて

権利者・利害関係者のニーズ等に応じつつ、柔軟に市街地整備を進める手法の検討。

今後、都市政策の方向性を具体化し、展開していく方策が議論されることを期待。